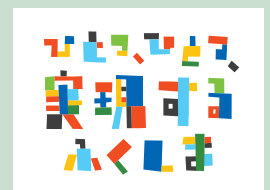




# 林業福島

No. **682**

題字 公益社団法人福島県森林・林業・緑化協会  
会長 齋藤卓夫



# 6

2021

監 修 ■ 福島県農林水産部  
表紙の写真 ■ 育てよう希望の森を



## 久しぶりの地元で

福島森林管理署白河支署長  
渡 邊 修

四月一日付けで福島森林管理署白河支署長に着任しました渡邊です。日頃から国有林野の管理経営にご理解をいただくとともに、地域の森林整備や林業振興等にご尽力いただき感謝を申し上げます。

出身は東白川郡棚倉町で、入庁以来これまで浪江・勿来・石川・棚倉・喜多方・会津の森林管理署（営林署）で勤務させていただき八年ぶりの福島県勤務となりました。

東日本大震災時は、会津森林管理署に勤務しており周囲の人たちが皆被災者という状況の中で、立位置がわからず右往左往していたところ、会津地方振興局からお話をいただき各被災地への物資（衣類等）供給の仕分けの手伝いをさせていただき、微力ながら被災者の方々のお役にたてて良かったと記憶しております。日ごとに被災状況がはつきりしてくるなか森林への放射能汚染被害が深刻化し「ふくしま森林再生事業」が始まろうとした頃に関東森林管理局に異動となりました。今回、着任して各種産業はもとより森林・林業・木材産業の復旧・復興が地域の皆様のご努力により着実に前進していることを感じているところです。

木材利用につきましては、戦後造成された人工林が利用期を迎え、昨年九月に公表された木材自給率は九年連続の上昇となったところですが、昨年度よりの、新型コロナウイルスの影響については、木材の需要は回復傾向にある一方、木材価格の乱高下の懸念も消えない状況が続いております。

国有林材の供給により民有林材を圧迫し、木材価格の下落及び工場や市場での受入制限などを助長することのないよう、コロナ禍による影響を注視しながら対策をとる等、柔軟な対応を図っていくこととしております。

また、新たに運用が開始された森林経営管理制度やその財源となる森林環境譲与税を活用した森林整備の一層の促進が期待されており、森林管理署等におきましても、「意欲と能力のある林業経営者」の育成や、現地検討会等を通じた国有林の有する技術の普及・提供等により、森林経営管理制度の定着・推進に対する支援を図るとともに、上流部の森林を管理する者として森林整備を着実に実施してまいります。

今後とも、関係自治体、関係者等と連携を密にさせていただきながら、着実に取組を進展させてまいりますので、よろしくお願いいたします。

### 《も く じ》

とびら

久しぶりの地元で

福島森林管理署白河支署長 渡 邊 修 … 1

『TOKIO課』始動!! … 2

林業研究センターだより … 3～4

東京オリンピック・パラリンピックへのふくしま県産材を活用したベンチの提供について … 5

福島県の山地災害について … 6

林業現場における新型コロナウイルス感染症対策について … 7

普及指導員通信 … 8

森林管理署メモ … 9

林研グループだより … 10

木の文化を育む⑳ … 11

木材市況・ふくしま東西南北 … 12

はなしのひろば・お知らせコーナー … 13

# 『TOKIO課』始動!!

令和三年四月一日、福島県は株式会社TOKIOと連携して福島県の魅力を広く発信するため、企画調整課内に「TOKIO課」を立ち上げました。「TOKIO課」は、株式会社TOKIOが福島県の復興を応援する「福島を楽しんで頂ける」プロジェクトを行う際に、県側の窓口（コンシェルジュ）となるバーチャルな組織です。

人気グループ「TOKIO」は、テレビ番組の企画で福島県との関係を深め、これまでも福島県の農林水産物の魅力のPR活動や風評の払拭に携わってきました。平成二八年の「新生！ふくしまの恵み発信事業」のCMをはじめ、昨年の夏から関東、関西、中京、北海道地区で放送され方言が印象的な「ふくしまプライド。」のCMなど、ふくしまの食材のおいしさを発信していました。今回の立ち上げには、株式会社TOKIOから『福島県と株式会社TOKIOで、できること、やれること』を考えていこう、今日という時を、未来という時を実現していこう。そんな思いで設置して頂きました。』というコメントが寄せられました。

した。四月一日の発表でエイプリル Foolと勘違いされたという報道もあるなど、反響の大きさが見て取れます。

そして、県が「TOKIO課」を始動させた同じ日に、株式会社TOKIOのオフィシャルサイトがオープンしました。自己紹介代わりとして載せられた動画には、TOKIOのメンバーがスギの巨木を伐採し、名刺を作っていく姿が映っていました。株式会社TOKIOの企画書にある『福島の木を切り紙にする』を体現する動画でした。

動画に使われたのは古殿町の杉林で、福島県の魅力がまたひとつ全国に発信され、県産食材に加えて林業もしっかり応援して頂けることとなりました。

動画が撮影された林地を管理している水野林業（古殿町）の水野廣人さんにお話を伺い



水野林業 水野廣人さん

ました。

——動画はどのような経緯で撮影することになったのでしょうか——  
うちの山から出した木を加工して

いただいている木工職人さんの紹介でした。TOKIOの希望で杉山を探しているとのことでした。プロジェクトの公表まであまり時間が無い時期での打診でしたので、短い間に何度も打ち合わせを行いました。

——現在、福島山はどのように扱われていると感じますか——  
山の仕事をしていると、色々な

方々がそれぞれの在り方で山を盛り上げようと努力をしていることを感じます。木を手軽に使える木工品へ加工する木工職人さんも、県産材を使って名刺を作成したTOKIOの皆さんも、木のあたたかさを感じてくれたからこそだと思います。

——水野さんはどのような林業を目指していますか——  
私はあくまで一林家家であり、木

樵でありたいと思っています。ですが、そのためには、みんなに純粋に山を楽しんでもらうことが重要だと思っています。素材生産だけではなく、フリーマーケットで木工品を提供したり林地を使ったテントサウナを企画したりすることで、木の価値を多面的に伝えたいと思っています。

水野さんは山に関心のある方々と気持ちに合わせて進んでいきたいと



※写真は水野林業提供

仰っています。福島県庁「TOKIO課」が森林の魅力を発信し、林業と共に実現していけるよう願っています。

抵抗性クロマツ種子は、SMP（人

令和二年度普及に移しうる成果

振興課ホームページをご覧ください。

林業研究センターでは、通常の課題に加えて、東日本大震災による東京電力福島第一原子力発電所の事故以降、放射性物質関連課題の研究も行っていきます。これらの課題の成果については、毎年「普及に移しうる成果」「参考となる成果」と「放射線関連支援技術情報」として福島県農業振興課のホームページで公表されています。令和二年度は、通常課題について「普及に移しうる成果」三課題、「参考となる成果」一課題、放射性物質関連課題については「放射線関連支援技術情報」八課題の成果を取りまとめました。ここでは、これらの概要についてお知らせします。なお、詳細については、福島県農業振興課ホームページをご覧ください。

た。オルニチンの定量値と分布を視

令和二年度普及に移しうる成果

分布している

工交配法)で、生産量を増加できる袋がけ不要の人工交配法であるSMPによる交配を行いました。その結果、自然交配と比較して、一・八(二・一倍の充実種子が得られました。花粉散布により、種子生産量をコントロールできることを明らかにしました(図-1)。

ほんしめじ「福島H106号」の発生量は新培地により大幅に増加できる。新たに開発したチップ培地を用いて比較検討を行ったところ、収量・発生本数ともに既存培地を大きく上回ることを確認しました(図-2)。

ナメコの傘にはオルニチンが豊富に分布している

本県オリジナル品種のナメコのオルニチン量を測定したところ、いずれのナメコも子実体の傘表面に豊富にオルニチンが分布しており、特にN2、N5号に多く含まれていました。オルニチンの定量値と分布を視

林業研究センターだより

令和2年度の「普及に移しうる成果」「参考となる成果」と「放射線関連支援技術情報」



ほんしめじ「福島H106号」

林業研究センター企画研修部

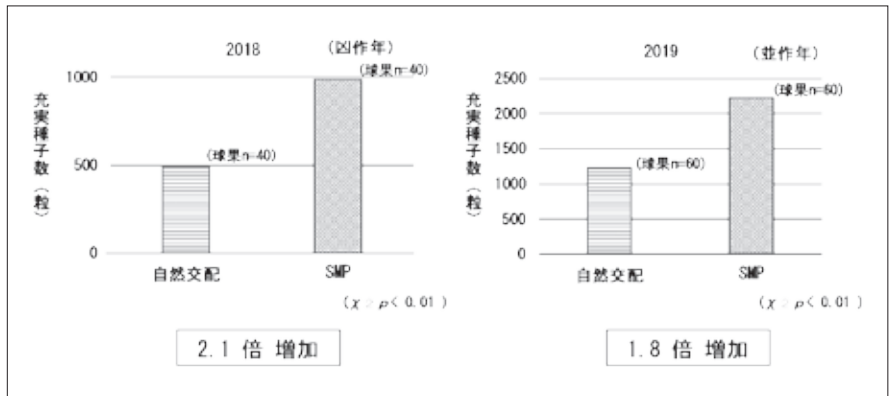


図-1 SMPによる充実種子の増加効果

要な指標と考えられる植栽木(マ

令和二年度参考となる成果

ドローンによる海岸防災マツ林の生育状況調査手法の検討

覚的に示すことで機能性を効果的に発信することが可能になります(図-3)。

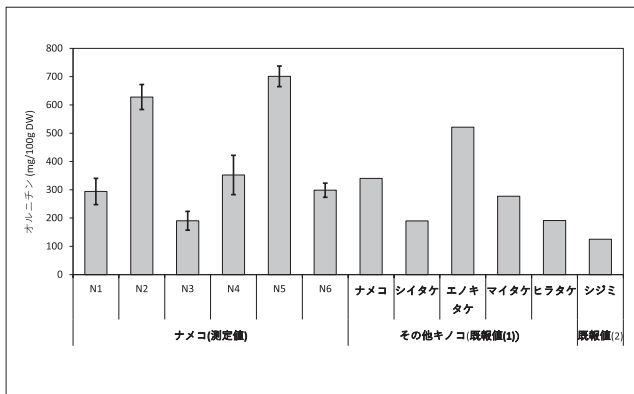


図-3 オルニチン含有量

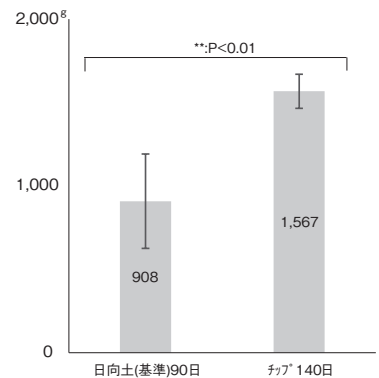
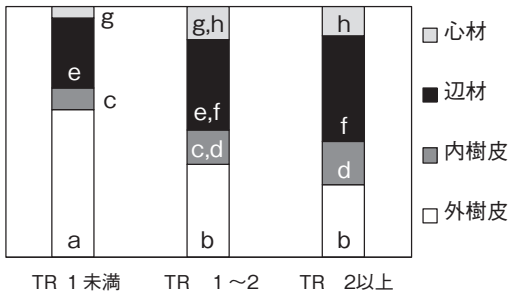


図-2 ほんしめじ新旧培地別1コンテナ当たり収量 (※9ピン/コンテナ)

(1) 佐藤恵理ら, キノコ類の遊離アミノ酸組成について, 日本食品工業学会誌32, 509-521, 1985.  
 (2) 岡本成司ら, 生息域を異にする酒沼川水系産ヤマトシジミ Corbicula japonica のエキス成分及び潮汁の食味の比較, 日本水産学会誌78, 444-453, 2012.  
 ※国立大学法人福島大学物品一時使用内規に基づき、超高速食品機能成分質量イメージング装置を利用した。



※ グラフは平均値を示す。異なるアルファベット間では有意差あり。(Steel Dwass 検定により危険率1%水準で3群間を多重比較した)  
 図-4 移行係数 (TR) により3つの群に分けた場合の原木部位別の<sup>137</sup>Cs量の割合

ツ)の被度の数値化を試みました。その結果、植栽年度等に応じた被度を算定することができました。

**令和二年度放射線関連支援技術情報**

**原木シイタケ栽培における被覆による<sup>137</sup>Cs汚染低減効果**

子実体<sup>137</sup>Cs濃度は、いずれの年も被覆資材を用いた試験区では、被覆を行っていない対照区と比べて有意に低い値となりました。被覆資材を用いることで、原木シイタケ子実体の放射性物質汚染が低減される可能性が示唆されました。

**シイタケ原木における<sup>137</sup>Csの分布が子実体への<sup>137</sup>Cs移行係数に及ぼす影響**

原木の<sup>137</sup>Csの多くは主に外樹皮と辺材に分布し、また、部位別の<sup>137</sup>Cs分布が異なると、子実体への<sup>137</sup>Csの移行しやすさも異なることが分かりました

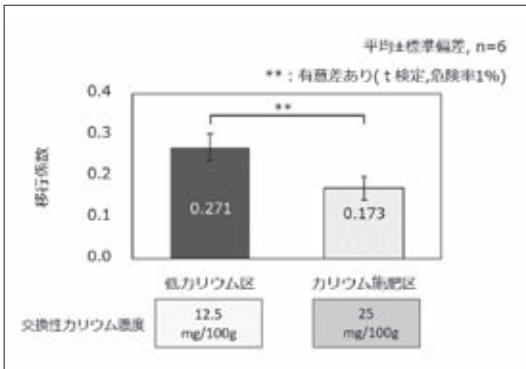


図-5 交換性カリウム濃度が異なる土壌から発生したわらび可食部への<sup>137</sup>Csの移行係数

(図-4)。

**わらびにおけるカリウム施肥の<sup>137</sup>Cs吸収抑制効果**

交換性カリウム濃度が高い土壌の方が、濃度が低い土壌に比べて<sup>137</sup>Cs移行係数が有意に低い値となり、カリウム施肥がわらび栽培においても<sup>137</sup>Cs吸収抑制に有効であることが明らかになりました(図-5)。

**福島県内の竹林におけるタケノコの<sup>137</sup>Cs濃度等の調査事例**

二年にわたりタケノコを採取して、<sup>137</sup>Cs濃度の測定を行いました。その結果、カリウム施肥量の異なる試験区ごとの差は認められませんでした。しかし、採取位置を試験地斜面の上部と下部に分けて比較したところ、下部では値の上昇は小さくなりました。

**同一株内におけるコナラ萌芽枝<sup>137</sup>Cs濃度のばらつき**

伐採後一年目のコナラ萌芽枝の<sup>137</sup>Cs濃度と土壌化学性等の関係

伐採後一年目における同一林分内の萌芽枝の<sup>137</sup>Cs濃度に影響を与える要因を検討しました。その結果、土壌の交換性カリウムと切り株断面積等が萌芽枝の<sup>137</sup>Cs濃度に影響する可能性が示唆されました。

推移調査の精度向上のために、同一株内における萌芽枝の<sup>137</sup>Cs濃度のばらつきを調査しました。その結果、同一株内で約一・一五〜三・〇八倍のばらつきがあり、土壌中の交換性カリウム濃度が低い場合や細い萌芽枝の場合、ばらつきやすいことが示唆されました。

**可搬式NaI(Tl)検出器による森林土壌の<sup>137</sup>Cs濃度の現地推定**

県内の<sup>137</sup>Cs濃度が異なる二〇箇所の森林において、土壌の<sup>137</sup>Cs濃度を現地推定し、従来方法による実測値との比較・検証を行いました。その結果、当該検出器による算定値と実測値の<sup>137</sup>Cs濃度の関係が明らかとなりました。検出器の算定値から実測値の推定が可能となることにより、森林土壌の放射性物質濃度を従来より簡易かつ詳細に現地把握できます(図-6)。

**土壌中交換性カリウム濃度二〇〜三〇(mg K<sub>2</sub>O/100g)以上ではコナラ苗木への<sup>137</sup>Cs吸収は抑制される**

<sup>137</sup>Csを含む森林土壌を入れたポットにコナラ苗木を植栽し、カリウム施肥の効果を検討しました。その結果、土壌中の交換性カリウム濃度が高くなると、コナラ苗木(幹部)への<sup>137</sup>Cs吸収が抑制されました(図-7)。

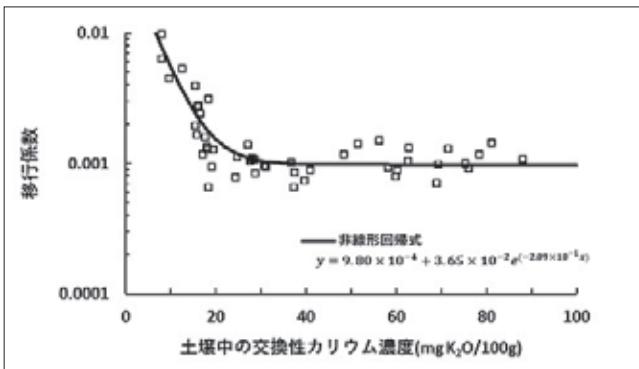


図-7 コナラ幹部の移行係数 (<sup>137</sup>Csの移行しやすさ) と土壌中の交換性カリウム濃度との関係

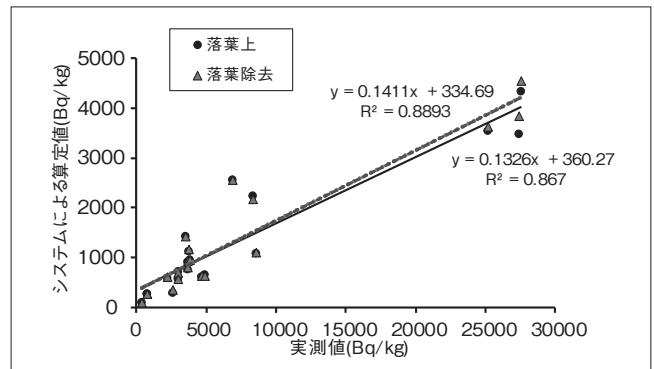


図-6 実測値と検出器による落葉上及び落葉除去の森林土壌<sup>137</sup>Cs濃度算定値の関係

# 東京オリンピック・パラリンピックへの ふくしま県産材を活用したベンチの 提供について

## 福島県林業振興課

東日本大震災の発生から早いもので十年が経過しました。本県の復興については、道半ばではありませんが、これまで、世界各国から復興支援をいただき今日を迎えることができています。東京オリンピック・パラリンピックを契機として、「感謝とおもてなし」の気持ちを伝えるため、福島県産のスギ材を活用し制作した木製ベンチを大会関連施設に設置する予定としています。

ベンチの制作に当たっては、子ども達が木材に触れる機会を創出し、豊かな自然や、物作りに対する意識醸成を図る観点から、県内七一の小中学校の児童・生徒に組み立て作業をしていただき、合計二五〇脚を制作しました。制作の様子や大会へのメッセージを動画で記録しており、一部のベンチにはQRコードを貼り付け、利用者が視聴できるようにしています。大会終了後には、ベンチを回収し、制作してくださった小中

学校において、オリンピック・パラリンピックのレガシーとして利用していただくこととしています。

なお、ベンチ制作の模様の動画については、「<http://fmokuren.net/tokyo2020>」から御視聴になれますので、ぜひ御覧ください。



このほか、選手村内の施設であるビレッジプラザに三立方材の県産のスギ材やヒノキ材を提供しており、令和二年一月に完成したこの施設は、現在、大会の開催を待っているところです。ビレッジプラザに使用した木材についても、大会終了後のレガシー利用を検討しています。

今般の新型コロナウイルス感染症拡大の影響が懸念されますが、大会が開催され、「ふくしま県産材」の普及・PRが図られることを期待しています。

※QRコードは(株)デンソーウェブの登録商標です



ベンチ制作の様子



木製ベンチ (イメージ)



ビレッジプラザにおいて県産材を活用しているエリア

# 福島県の山地災害について

## 福島県森林保全課

### ○山地災害について

近年、地球温暖化や世界的な気候変動によりゲリラ豪雨と称される局所的な集中豪雨が日本全国で多発しています。昨年度は令和二年七月豪雨などにより西日本を中心に甚大な被害が発生し、多くの尊い人命及び財産が失われました。

国、県、市町村では毎年五月二〇日から六月三〇日までの期間を「山地災害防止キャンペーン」月間とし、ポスターの提示やホームページへの掲載により山地災害に対しての注意喚起を行っています。また県は、山地防災ヘルパーの新規認定や資質の向上を目的とした講習会などを開催しています。

### ○福島県の地形・地質・自然条件

Q. 山地災害はなぜ発生するのでしょうか？

A. それは地形・自然条件を見てみると山地災害が起こりやすい特性を持っているからです。

福島県の面積の約八割は山地になっています。会津地方は奥羽山脈

や越後山脈の広大な山地帯で急峻な山々が連なり、活火山地域特有の地質となっています。中通りから浜通にかけては阿武隈高地があり、花崗岩マサ土地帯で表層崩壊が起こりやすいなどの特徴があります。

自然条件としては福島県（会津若松、福島、小名浜の各観測所過去十年）の年間平均降水量は約一、三〇〇ミ（日本の平均一、七〇〇ミ）と全国平均を下回りますが、梅雨前線や台風などによる集中豪雨に加え、環太平洋地震地帯の中に位置するため地震や火山活動が活発であり、山崩れや土石流、地すべり、なだれなどの山地災害の危険を常に抱えているといえます。

また、近年では梅雨期や台風の時等には局地的な集中豪雨が起こり、各地に大きな災害をもたらしています。令和元年十月十二日に福島県の浜通りを北上した台風第十九号により県内各地で土砂崩れや河川氾濫が多数発生し、三八人の尊い命が失われました。現在も各地で鋭意復旧工

事が進められていますが、自然災害に対する備えはハード整備のみでは困難です。

### ○危険箇所を知ろう！

災害に備えるためお住まいの地域で山地災害のおそれのある地区がどこにあるか知っておく必要があります。

福島県では山腹崩壊や崩壊した土砂の流出などが発生又は発生する危

険があり、その被害が人家・公共施設等に直接影響する恐れのある地区を調査し、「山地災害危険地区」としてお知らせしています。身近に危険な箇所がないかどうか、あらかじめ確認しておきましょう。

（福島県森林計画課ホームページ森林情報発信システム「ふくしま森まつぶ」参照）

https://www2.wagmap.jp/fukushima-shinin/portal



南相馬市原町区の令和元年東日本台風被害復旧状況（左：復旧前 右：復旧後）

# 林業現場における新型コロナウイルス感染症対策について

(公社) 福島県森林・林業・緑化協会  
林業労働力確保支援センター

## ◎はじめに

福島県においては、五月十四日に「福島県新型コロナウイルス感染症非常事態宣言」が発令され、県内全域を対象に緊急特別対策が実施されてきたところです。

感染症対策に携わる方々は、県民の命と健康を守るため昼夜を問わず最前線での懸命に対応されています。林業の現場から感染者を出さないよう対策を万全にする必要があります。

## ◎国の基本的ガイドライン

農林水産省では、林業経営体（森林組合・素材生産者・自伐林家等）及び木材関連事業者における感染者が発生した時の対応及び事業継続に関する基本的なガイドラインを策定して公表しています。（令和二年五月二二日最終改訂）

このガイドラインは、新型コロナウイルス感染症の患者が発生した時に、保健所と連携して、事業主や従業員等の健康保護とともに業務継続を図る際の基本的なポイントがまとめられたものですので、要点を紹介します。

### 一、予防対策の徹底

ア 従業員等の感染予防策は下記のとおり。

- ① 体温の測定と記録
- ② 以下のいずれかに該当する場合、林業経営体への連絡と自宅待機の徹底（発熱などの症状がある場合、新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触がある場合、等）
- ③ 少なくとも以下のいずれかに該当する場合には、すぐに林業経営体に連絡のうえ、保健所に問い合わせ（息苦しさ（呼吸困難）・強いだるさ（倦怠感）・高熱等の強い症状のいずれかがある場合、重症化しやすい方で発熱や咳などの比較的軽い風邪の症状がある場合、上記以外の方で発熱や咳などの比較的軽い風邪の症状が続く場合、等）

イ 林業経営体の現場作業に関連した感染予防策は下記のとおり。

- ① マイクロバス等で作業現場に移動する際や、マイクロバスを休憩所として活用する場合、窓を開けての換気やエアコンを用いた外気の導入等による定期的な換気の実施と、マスクの着用
- ② 休憩小屋

などの狭い屋内で昼食等により長時間過ごす場合、窓を開けるなどによる定期的な換気の実施と、人との間隔はできるだけ二メートルを目安に（最低一メートル）適切な距離を確保し、さらに林業経営体が徹底すべき感染予防策は下記のとおり。

- ① 出勤時、トイレ使用后、事業所等への入場時の手洗い・手指の消毒
- ② マスクの着用、咳エチケットの徹底
- ③ 通常の清掃に加え、水と洗剤を用いた机・ドアノブ・スイッチ・階段の手すり・テーブル・椅子・エレベーターの押しボタン・トイレの流水レバー・便座等人がよく触れるところの拭き取り清掃

エ 林業経営体が主催する会議・行事等は、その規模の大小に関わらず開催の必要性について検討し、開催する場合には、換気、人と人との間隔を適切にとること、アルコール消毒液の設置など、「三つの密」を避けるための所要の感染防止対策を行う。

## 二、感染症患者発生時の対応

ア 林業経営体は、患者が確認された場合には、その旨を保健所に報告し、対応について指導を受ける。従業員等に対しては経営体内で感染者が確認されたことを周知するとともに、一に掲げる感染予防策をあらためて周知徹底する。

イ 林業経営体は、保健所の調査に協力し、速やかに濃厚接触者を自宅に待機させるなど感染拡大防止のための措置をとる。

ウ 林業経営体は、保健所が濃厚接触者と確定した従業員等に対し、十四日間出勤を停止して健康観察を実施する。濃厚接触者と確定された従業員等は、発熱又は呼吸器症状を呈した場合には保健所に連絡し行政検査を受検し、その結果を報告する。

## 三、施設設備等の消毒の実施

林業経営体は、保健所が必要と判断した場合には、感染者が勤務した区域（事務所・休憩小屋等）を消毒する。

## 四、業務の継続

ア 林業経営体は、従業員等の感染が確認された場合に業務を継続できるようにするための取組を検討しておく。（例）現場作業班間での感染を抑制するため、複数の作業班が同時に出席する会議・行事等の限定や作業班間の作業員の入れ替えの抑制。

イ 林業経営体は、従業員等の感染が確認されて濃厚接触者の出勤停止の措置を講じることで、通常の業務の継続が困難となる場合には、業務を継続するために必要となる人員や物的資源（マスク・手袋・消毒液等）を把握しておく。

## ◎今後の取組

林業経営体の皆様におかれましては、感染拡大防止と早期の終息を目指し、まずは日頃からの感染予防対策を徹底されるとともに、ガイドラインに基づく感染防止対策を万全にされまう、お願いいたします。



# 新規林業就業者の獲得に向けて

福島県相双農林事務所

林業普及指導員 渡部 昌俊

## 1 はじめに

2011年に発生した東日本大震災と原発事故により、相双地区は大きな被害を受け、10年経過した現在も影響が続いています。林業においても、地域住民の避難により作業員数が大幅に減少し、林業事業体（相馬地方）数も未だ震災前の7割程度となっているなど、営林活動が滞っています。

一方、海岸防災林造成事業及びふくしま森林再生事業などにより森林整備が再開し、森林の持つ機能が回復しつつあります。

そのため、それに応える作業員の不足が顕著となっており、新規林業就業者の確保が喫緊の課題となっておりますが、他の復興関連事業等による雇用が旺盛になったなか、各林業事業体とも作業員の確保が思うように進まない状況にあります。

そこで、相双農林事務所では、平成29年度より新規林業就業者確保の一環として、高校生に林業に興味をもってもらうべく、林業見学会等を開催しています。今回は、令和2年度の開催状況を紹介します。

## 2 活動内容

### (1) 高校生林業見学会

令和2年12月、相馬市山上において、林業見学会を開催しました。対象は、相馬農業高校環境緑地科1年生22名です。ふくしま森林再生事業施工地であるヒノキ林において、チェーンソーによる伐倒、プロセッサによる造材、フォワーダによる運搬と一連の流れを見学しました。

高校生たちは、普段目にすることがない大型の林業機械が動き回る迫力満点の林業の現場に興味深そうに見ていました。

### (2) 林業教室

令和3年2月には、相馬農業高校において座学による林業教室を行いました。相双農林事務所の普及指導員による講義では、森林の働き、林業の仕事、森林の現況、放射性物質による汚染状況等について説明を行いました。

座学の後半には、森林組合の若手職員2名により、林業の仕事の紹介を行いました。森林組合に入ったきっかけや仕事の内容、高校生へのメッセージなどをインタビュー形式で進めました。地元出身で年齢も近いとあって、生徒たちは若手職員の話に熱心に聞き入っており、自然を相手にする林業への興味がうかがえ、手応えを感じました。



プロセッサによる造材

## 3 今後の取組

高校生向けの林業見学会等の取組は、これまでも継続的に開催してきましたが、残念ながら、ここ数年、当高校からの新規林業就業へは結びついていません。しかし、高校生向けの取り組みは今後も継続し、より林業の魅力を伝えられるようブラッシュアップして、新規就業へつなげていきたいと思えます。

また、それ以外の年代にも林業の魅力を伝えられるよう、林業事業体と共に考え、林業への就業に繋がるような企画を増やしていきたいと思えます。



普及指導員による講義の様子

森林管理署メモ

# 八溝山周辺のニホンジカ対策

ニホンジカ（以下「シカ」という。）による森林被害は深刻な状況になっていきます。

当署管内では、これまでシカの生息は確認されていませんでしたが、平成三〇年に八溝山（標高一、〇二二メートル）周辺においてシカの生息を確認したため、以降、センサーカメラを設置してモニタリング調査を開始しました。

これを受け、八溝山周辺を管轄する茨城森林管理署、塩那森林管理署及び当署は、広域的なシカの生息状況の把握や対策等に資することを目的とする「八溝山周辺国有林ニホンジカ対策協議会」（以下「国有林協議会」という。）を令和元年六月に設立して活動しているところです。以下に示した、図1及び図2は、国有林協議会の三署管内においてシカをモニタリングした頻度をまとめた



関東森林管理局  
棚倉森林管理署

ものです。平成三〇年の図1と三一年の図2を比較すると、福島県の北西側（天栄村方面）はメスの割合が高くなっていること、八溝山周辺はシカが撮影された箇所が増加が見られることがわかります。この二年間の状況から判断すると、福島県の北西側から八溝山周辺にシカの生息範囲が拡大している傾向が見受けられます。また、メスシカの侵入も見られ、今後、急速な個体数の増加が心配されます。

こうした中、令和二年五月に当署管内でシカによるスギ植栽木の食害

（摂食痕）が確認されました。これによりモニタリング箇所を広げるとともに、植栽木への忌避剤散布を行いました。

また、令和二年度から捕獲を視野に入れた専門業者による委託調査事業を開始しました。

侵入初期段階におけるシカは警戒心が強く捕獲は難しいとされていますが、シカをおびき寄せ（誘引）捕獲する手法を取り入れ、シカが好むとされている「鉾塩」（塩の固まり）を設置し誘引効果を調査しています。徐々に誘引効果が見られており、令和三年度は、モニタリング調査に加え、括り罠による捕獲も試み

ることとしています。

八溝山周辺のシカはまだ低密度状態で被害もあまり出ていませんが、低密度状態のうちに必要な対策を講じ、シカによる森林被害の拡大を防いでいきたいと考えています。

また、八溝山に県境を持つ福島県、茨城県、栃木県が三県境地域のシカ被害対策を目的に「福島茨城栃木連携捕獲協議会」を令和元年七月に設立されたところです。

両協議会は、令和二年二月に意見交換を行い、情報共有及び連携を図っていくこととしています。

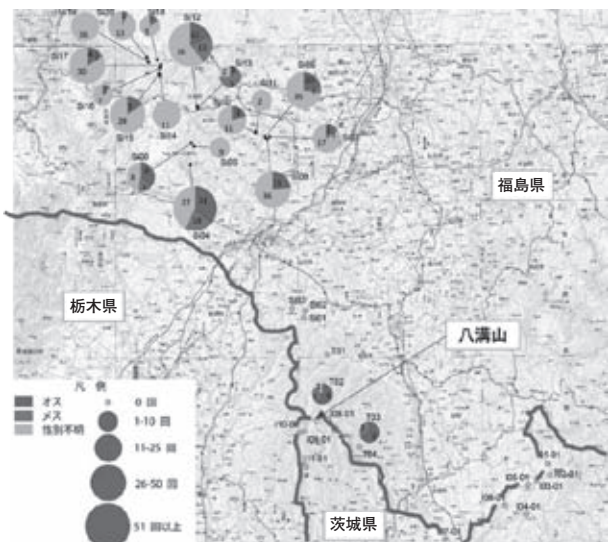


図1：ニホンジカ分布拡大状況図（平成30年）

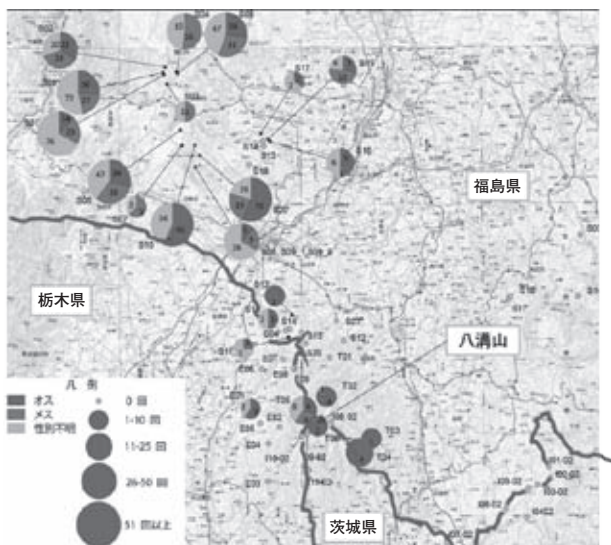


図2：ニホンジカ分布拡大状況図（平成31年）

団体のページ

林研グループだより

『地域とともに活動しています』

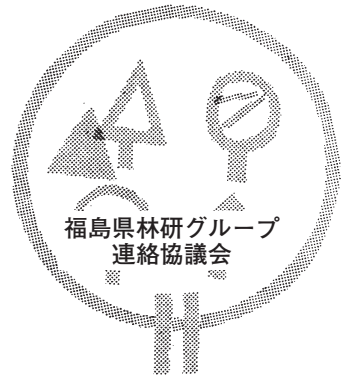
令和二年度は日本中が初めて体験する大きな感染の災禍に襲われた一年でしたが、私たち林研グループは、地元にあつて知識及び技術の研鑽と自主活動の促進に努めてきました。令和二年度における私たちの元気の活動の一端をご紹介します。

◎田人林業研究会

『田人小・中学校との連携した活動』

田人林業研究会の緑川平隆さんは、本年二月に開催された令和二年度林業研究グループ等活動発表において、『田人小・中学校との連携した活動』について発表し最優秀賞を受賞、東北・北海道ブロック令和三年度林業グループコンクールに県代表として推薦されることとなりました。(本誌六七九号)

田人林業研究会は、田人中学校が



平成十八年に学校林を利用した森林環境学習を始めた当初からその活動に関わり、震災による中断はありましたが、平成二七年に田人地区の小・中学校が小・中一貫教育を基盤としたコミュニティスクールとして再編されたことを機に、地区にある産業や特産品を地域団体と連携して学ぶ「たびと学」を通して「田人の心を心とする教育」を行う教育方針に協力していくことになりました。田人小・中学校では、林業が盛んな地域であることの利点を生かし、学校林でのチェーンソー体験や毎木調査体験、ベンチや本棚を作る木材加工体験、木のボールペンを作る木工工作を行っています。田人林業研究会はこのような活動を通して学校と一緒に子育て子どもたちを育てています。

田人林業研究会の緑川さんは、地域の産業である林業への手引きを担っているという認識で、これからも活動していきますと語っていました。

◎新しい仲間も活躍しています。

会津里山森林資源育成研究会

(会長 星 比呂志氏)

会津里山森林資源育成研究会は、苗木生産者、造林・伐採事業者、桐材製材事業者及び農林高校職員が集い、令和三年一月に設立、この四月から福島県林研グループ連絡協議会に加入されました。会津地域における里山森林の保全と利用に資することを目的に、森林資源の造成や森林整備に関する活動を行っています。

◎県に木製ボールペンを贈呈

「林業アカデミーふくしま」の開講に向けて、実技研修等を効果的に行うための実習フィールドの運用に関する「林業の人材育成に向けた連携及び協力に関する協定」締結式が、県農林水産部長、福島森林管理署長、埴町長の三者により三月二六日に行われました。

当協議会では、林業アカデミーらしい署名が行えるよう、田人林業研究会(豊田新一会長)で作成したオリジナルボールペン四本を県に贈呈しました。

ボールペンは、軸にそれぞれ、県産材の杉、赤松、桑、アカシアを使用し作成されたもので、締結式終了後には、県林業振興課長からお礼状をいただきました。

協定締結式はこちら



林業アカデミーふくしま 検索



杉 樹齢100年位の杉の木のこぶで製作



赤松 赤松の根の部分(伐採して、10~20年、土の中にある部分です。)



桑 桑の木で製作



アカシア アカシアの木で製作(真ん中にどんぐりをイメージしています。)

木の文化を育む②7

『木育』カフェinアグリパークin須賀川～grön park café～(株式会社住まぐらき)

郡山女子大学生活科学科建築デザイン専攻准教授 阿部 恵利子

○はじめに

多様化するライフスタイルに合わせた家づくりは、子育て世代の家族にとって大きなテーマとなっています。日々の生活において、子ども達が健やかに育つ環境づくりはもちろんのこと、地域社会においては、安心して子育てができる子育て世代のサポートが求められています。

○子育て世代の家づくり

「家づくりを通して家族の笑顔と幸せを提供すること、それが私たちの使命です。」と株式会社すまい屋『さくらく』(須賀川市)代表取締役山田智也さん。子育て世代を中心に自由設計のローコスト住宅を提供しています。洋風、和風、南欧風等、さまざまなスタイルを手掛け、住み手の個性や暮らしやすさ、心地よさを重視するとともに、木と触れ合う温かい家には、子育て中だからこそアイディアや子どもが楽しめる空間が沢山詰まっています。五感を通して温かみや柔らかさを感じる木の住

まいは、子ども達の健やかな心の発達と豊かな感性養います。

○木に触れて親子で楽しむ

山田さんは、子育て世代の誰もが気軽に楽しめる施設として、「カフェの楽しみ」と「木育」をテーマにしたgrön park café(グランパークカフェ)を須賀川市愛宕山の翠ヶ丘公園駐車場前にオープンしました。カフェブース隣に、木製玩具の遊び場や丸太の屋内アスレチック、すべり台、ロッククライミングウォールなどを併設し、親子で楽しめる空間を提供しています。施設内には授乳室やおむつ台が完備されており、おむつや離乳食などの乳幼児に必要なグッズも揃っています。

屋外には三輪車やソリが用意されており、天気の良い日は芝すべりやアスレチックで遊ぶことができます。屋内のカフェスペースでは、屋外で遊ぶ子どもたちの様子を定点カメラで常に確認できるため、ゆつくりお茶を頂きながら、子どもたちを

見守ることが出来ます。

○まとめ

カフェと『木育』を融合したグランパークカフェは、子ども連れでもゆったりとした時間を過ごすことができ、子育て世代と地域をつなぐ役割を担っています。

日々、子育てに奮闘されている子育て世代の皆さんは、温かみのあるカフェで、子ども達と共にホッと一息ついてみませんか？



ロッククライミングウォール



屋外の様子(芝すべりを楽しみます。)



親子で木製玩具遊び



0～2歳の乳幼児コーナー



木製たまごのプール

# 木材市況

## 素材の価格〈工場着価格〉(2021年3月15日現在)

(単位：㎡当り千円)

区分	形量		材質	樹種	中通り地方		会津地方		浜通り地方		県平均		
	径(cm)	長さ(m)			当月	前月差	当月	前月差	当月	前月差	当月	前月差	
一般用材	小	5~9	4.00	並	スギ	8 (6~10)	0	(0~0)		10 (10~10)	0	9 (6~10)	0
		10~14		並	スギ	13 (12~14)	0	(0~0)		12 (11~12)	0	12 (11~14)	0
	中	14~22	3.00	並	スギ	12 (10~14)	0	14 (14~14)	0	12 (11~13)	0	12 (10~14)	△1
				並	ヒノキ	15 (15~15)	1	(0~0)		16 (16~16)	0	15 (15~16)	0
		20~28	6.00	並	スギ	15 (14~16)	0	10 (10~10)	0	17 (16~18)	0	15 (10~18)	0
				並	ヒノキ	24 (24~25)	0	(0~0)		22 (20~24)	0	23 (20~25)	0
			3.65	並	スギ	13 (12~14)	0	11 (10~12)	0	12 (12~13)	0	12 (10~14)	0
				並	スギ	12 (12~13)	0	11 (11~11)	△1	12 (12~13)	0	12 (11~13)	0
	1.80	並	アカマツ	10 (8~11)	0	(0~0)		9 (8~10)	0	9 (8~11)	△1		
		並	アカマツ	7 (5~9)	0	(0~0)		8 (8~8)	0	7 (5~9)	0		
	外材	30以上	10.00	並	米ツガ	(0~0)		(0~0)		30 (30~30)	0	30 (30~30)	0
				並	米マツ	28 (28~28)	0	33 (33~33)	3	28 (28~28)	0	30 (28~33)	1
28以下		4.00	並	エゾマツ	(0~0)		(0~0)		25 (25~25)	0	25 (25~25)	0	
			並	アカマツ	(0~0)		(0~0)		25 (25~25)	0	25 (25~25)	0	
パルプ用材			並	マツ	7 (7~7)	0	(0~0)		7 (7~7)	0	7 (7~7)	0	
			並	広葉樹	10 (10~10)	0	(0~0)		(0~0)		10 (10~10)	0	

二月の原木市場への入荷量は、前月比三割増(前年比五割増)の二九、四七立方メートルとなっている。  
 販売量は、前月比三割増(前年比五割増)の二九、六〇五立方メートルとなっている。  
 三月の価格は弱含みとなっている。

区分	形量		材質	樹種	会津共販		いわき	
	径(cm)	長さ(m)			当月	前月差	当月	前月差
一般用材	12以下	4.00	並	カラマツ	(0~0)	0	7 (6~9)	0
	13~14		並	カラマツ	(0~0)	0	8 (7~9)	0
	16以上		並	カラマツ	(0~0)	0	10 (10~11)	△1

注) 1. 前月差の△印は値下りを示す。  
 2. ( ) 内は各地域の価格幅、( ) 外は各地域の平均価格を示す。  
 3. 一般用材カラマツは工場着価格ではなく、福島県森林組合連合会の会津共販所・いわき木材流通センターの素材市売価格を示す。  
 4. 各地域の価格について、異常値が生じた場合には県平均算出から除く場合がある。

探鳥路の木々の隙間からは、対岸に広がる檜山や矢祭山などに絶壁のような岩肌を露出する奇岩を眺めることができ、あたかも中国は桂林の墨絵を彷彿とさせる景色に強く胸打たれました。また、遠くには周囲の山並みが眺望でき、五月の青空と一体となったその景色は非常に開放感を感じました。



矢祭山公園、探鳥路を満喫する様子

先日の休暇、矢祭山公園を訪れました。矢祭山公園は矢祭町の南西部、水郡線や国道一一八号線、久慈川の東西両側に広がる裾野一帯にあります。今回散策したのはその西側で、矢祭山(標高三八三メートル)の山肌をぬうように整備された探鳥路を中心に一時間ほど散歩してきました。ツツジ、サクラ、マツなどに囲まれたルート上は、初夏らしい爽やかな香りとともにマツヤニの匂いがほのかに漂っていました。また、探鳥路の道すがら、大きなフジが見頃を迎えており、新緑の季節の訪れを感じられました。

ここで、矢祭山公園の歴史にも少し触れてみます。時は永承六年(一〇五一年)、奥州十二年戦争で勝利を収めて凱旋する道中、この地の景観に心打たれた源義家(源頼朝の高祖父)が、山中の洞穴に自ら弓矢を祀り、武運長久を祈ったことに由来して「矢祭山」と呼ばれるようになったそうです。そんなわけで、今回の散策の終わりには、矢祭神社に立ち寄り、当時の頼家に思いを馳せ、そのご利益にあやかってきました。県職員となって、一年と一カ月、故郷茨城県との県境で、思いを新たにすることができました。



### 福島、県南、矢祭

県南農林事務所森林林業部林業課 技師 住谷和彦

## 表紙の写真



### 「育てよう希望の森を」

第17回ふくしま森林・林業写真  
コンクール 奨励賞  
受賞者 木村東仁さん(岩手県)  
撮影場所:ふくしま県民の森

発行人

水戸印刷株式会社  
陽光社印刷株式会  
社明

編集

福島県内四森林管理署  
福島県森林・林業・緑化協会  
福島県森林組合連合会  
福島県木材協同組合連合会  
福島県農林種苗農業協同組合  
ふくしま緑の森づくり公社  
森林研究・整備機構福島水源林整備事務所  
福島県森林・林業・緑化協会  
(福島市中町五番一八号県林業会館内)

(定価 一〇〇円)

はなしの  
ひろば

## 六月の夜風

家の中の片づけを始めた。「とりあえず仕舞ってきたモノ」たちが、やけに目につくようになってきた。齢を重ねると、暮らしぶりやモノの価値観が変わって、その頃必要だったモノが不要になってきた。処分の線引きは、そのモノにときめくか、ときめかないかだというが、私は、これからの自分にとって必要か、不要かの線引きをした。が、これから齢を重ねていく自分の暮らしぶりが想像つかない。ならば、せめて今の自分に必要なものだけを残し、不要なものは処分した。

三日間の徹底した片付けの後、何気なく夜の窓を開けてみる。六月は、初夏でもない、真夏でもない「つなぎの季節」などと思っていたが、だんだん落ちてきてきた緑が、わさわさと風の形に揺れている様は、圧倒的だ。そして、大きな風の掌は、水田の若い苗をなぞってきたのだろうか。少し湿り気を帯び、どこことなく雨がくる匂いがする。と、カエルの声が闇に響き渡る。(なんてなつかしい匂い、なんてなつかしい声だろう) 思わず目をつむり、深呼吸をする。(この懐かしが自分の原風景ではないのか...) 不要なモノを処分してみると、こんな心持ちにもなれる。そして、モノを処分することは、不要な思い入れも一緒に離していくことだ。

身軽になった家にも夜風が入り込む。初夏以上、真夏未満の風を感じながら、何の根拠もないが「明日はもつといい日になる」そんな予感がした。

(都)




## お知らせコーナー

### 2021一語一絵 第16回みどりの文 作品募集

～あなたただけのみどりへの思い たくさん表現してください。～

「美しい緑とやすらぎの空間づくり」を目指している(一社)福島県造園建設業協会では、庭に込められたあなただけの物語を手紙や絵手紙、写真で伝える作品を募集しています。

#### 1 部門

- (1) 手紙・エッセー部門   
600字以内(句読点を含む)  
様式は自由(原稿用紙、便箋等)
- (2) フォト部門   
六ツ切り、ワイド六ツ切り、  
A4サイズ  
裏面に必ずタイトルを明記
- (3) 絵手紙部門   
通常ハガキ、私製ハガキ  
(通常ハガキサイズ)  
コピー、スキャンは不可

#### 2 応募締切

令和3年8月28日(土)(当日消印有効)

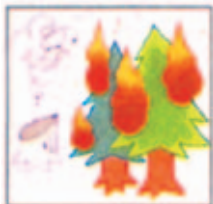
#### 3 お問い合わせ先

一般社団法人福島県造園建設業協会  
(TEL 024-593-0039)



# 備えのパートナー 森林保険

こんな災害からあなたの山を守ります。



## 1 火災

山火事で受けた損害



## 2 風害

暴風による根返り、幹折れなどの損害



## 3 水害

豪雨、洪水による埋没、水没、流失などの損害



## 4 雪害

大量の積雪による幹折れ、根返りなどの損害



## 5 干害

乾燥による枯死などの損害



## 6 凍害

凍結、寒風などによる枯死などの損害



## 7 潮害

潮風、潮水浸水などによる枯死などの損害



## 8 噴火災

火山噴火による焼損、幹折れ、埋没、根返りなどの損害

《保険の対象となる森林》

竹林や人手の全く入らない天然林を除き、面積が0.01ha以上であれば、樹種、林齢に加入制限はありません。

《ご相談・お申し込みは》

- ◆福島県森林組合連合会  
TEL024-523-0255(代)
- または最寄りの森林組合

イワフジの GP シリーズ  
グラップルプロセッサ

# GP-35B

IWAFUJI  
INDUSTRIAL CO., LTD.

製品情報



### 傾斜地に対応した全旋回チルトプロセッサ

- ・最大 38 度のチルト機能により傾斜地での作業性が大幅に向上
- ・全旋回ローテータにより油圧ホースが絡む心配不要
- ・サイドカッタ解除機能により曲がり材に対応
- ・大容量油圧システムと強化型送りモータによるパワフルな送材
- ・GP-8 コントローラを搭載
- ・新開発のスタッドローラ(オプション)

For the future with forest



**イワフジ工業株式会社**

<http://www.iwafuji.co.jp/>



- ( 南東北支店 ) 福島県郡山市八山田 5-314  
TEL 024-973-5166 FAX 024-973-5168
- ( 本社・工場 ) 岩手県奥州市水沢字桜屋敷西 5-1
- ( 支 店 ) 札幌・東北・南東北・関東・中部・関西・中四国・九州

レインボー薬品の薬剤と資材

# 緑地管理の未来をひらく

わたしたちは、人と自然の調和を考えながら、より良い緑の環境づくりを目指しています

## 松くい虫予防薬剤

ヤシマスミパイン乳剤  
スミパインMC  
マツグリーン液剤2  
グリーンガード・NEO

## くん蒸剤

ヤシマNCS

## くん蒸用生分解性シート

くん蒸与作シートハイバリア

## ハチ退治

ハチノックL (巢処理用スプレー)  
ハチノックS (携帯用スプレー)

## 新商品

猪レスSTOPテープ

ヒルノックWスプレー

ヒルノックW



レインボー薬品株式会社

東京都台東区上野1-19-10 お問い合わせ TEL. 03(6740)7777 平日 9:00~17:00 (土日祝日は休み)



## 人と共に 緑と共に

For Professional



BCZ275GW-DC  
排気量 25.4cc

ZHM1550RR



刈幅：1500mm 出力：27.5kW

SR3100



破砕径：200mm 出力：18.4kW

For Professional



GZ3950EZ  
排気量 39.1cc

GZ4350EZ  
排気量 43.1cc



ハスクバーナ・ゼノア(株) 福島県代理店

# (有) うねめ林業機械

TEL(024)952-2657・FAX(024)951-7775 〒963-0211 郡山市片平町字新蟻塚 108-1